

2013年の通商関連の主な動き(暫定版)

月 日	主な動き	内容・決定事項等
1 7	12年登録車販売台数【日本自動車販売協会連合会】	339万274台(前年比+26.1%)、07年以来5年ぶりに330万台超。
1 10	中国、12年貿易統計	輸出は2兆489億ドル(前年比+7.9%)、輸入は1兆8,178億ドル(同+4.3%)、貿易収支は2,311億900万ドルの黒字(同+48.1%)。
1 10	12年輸入車新規登録台数(速報)【日本自動車輸入組合】	31.6万台(前年比+14.6%)。
1 10	12年末外貨準備高	1兆2,681億2,500万ドル(前年比▲277億1,600万ドル)。
1 10	ECB、政策金利	0.75%で据え置き。
1 16	米FRB、ページブック(地区連銀経済報告)	米経済は12年11月下旬から「緩やかなし控えめなペース」で拡大。
1 18	就職内定率	13年春卒業予定の大学生の12年12月1日時点の就職内定率は75.0%、08年のリーマン・ショック後の低迷から回復し、2年連続で改善。
1 18	中国、12年GDP	前年比+7.8%、1999年以来の低水準。
1 21	日銀、金融政策決定会合(～22日)	「デフレ脱却と持続的な経済成長の実現のための政府・日本銀行の政策連携について(共同声明)」を発表。
1 21	12年工作機械受注(確報)【日本工作機械工業会】	1兆2,124億円(前年比▲8.6%)、3年ぶりの減少。
1 22	12年粗鋼生産量【日本鉄鋼連盟】	1億724万トン(前年比▲0.3%)、2年連続の減少。
1 22	12年世界粗鋼生産量【世界鉄鋼協会】	15億4,780万トン(前年比+1.2%)、3年連続で過去最高を更新。
1 22	日銀、展望レポート	実質GDP成長率は13年度+2.3%、14年度+0.8%と上方修正。
1 22	12年薄型テレビ国内出荷台数【電子情報技術産業協会】	645万3,000台(前年比▲67.5%)、2年連続の減少で減少率は過去最大。
1 23	1月月例経済報告	「景気は、弱い動きとなっているが、一部に下げ止まりの兆しもみられる。」
1 23	世界経済フォーラム年次総会(～27日、スイス・ダボス)	「Resilient Dynamism(弾力性ある活力)」を主要テーマに、債務危機やアフリカ経済体への投資リスク、格差問題などについて議論。
1 24	12年貿易統計(速報)	輸出は63兆7,446億円(前年比▲2.7%)と2年連続の減少、輸入は70兆6,720億円(同+3.8%)と3年連続の増加、貿易収支は6兆9,273億円と過去最大の赤字、836.8万人(前年比+34.6%)、震災前の10年と比べても2.8%減まで復調。
1 25	12年訪日外国人数【国際観光振興機構】	836.8万人(前年比+34.6%)、震災前の10年と比べても2.8%減まで復調。
1 28	第183回通常国会召集	夏の参院選に向け景気回復が最優先課題。
1 29	米、FOMC(連邦公開市場委員会、～30日)	ゼロ金利政策とQE3の現状維持を表明。

2013年の通商関連の主な動き(暫定版)

月 日	主な動き	内容・決定事項等
1 30	米、12年GDP(速報)	+2.2%。
1 31	米、12年個人消費支出	+3.6%、11年の伸びを下回る。
1 31	12年国内自動車生産台数【日本自動車工業会】	994.3万台(前年比+18.4%)、2年ぶりの増加。
1 31	12年自動車輸出実績【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数は480.1万台(前年比+7.5%)、2年ぶりに増加。うち乗用車は419.6万台(同+6.8%)。
1 31	12年新設住宅着工戸数	88万2,797戸(前年比+5.8%)、3年連続の増加。東日本大震災からの復興需要や政府の住宅版エコポイント制度が寄与。
1 31	ロシア、12年GDP	+3.4%、09年以来の低成長。
1 31	11年度国民健康保険納付率	89.4%(前年度比+0.78%)と2年連続で改善。
2 1	12年12月完全失業率(速報)	4.2%。
2 1	12年平均の完全失業者数(速報)	285万人(前年比▲17万人)。
2 7	12年機械受注統計	23兆7,337億円(前年比▲4.3%)。
2 7	ECB、政策金利	0.75%で据え置き。
2 8	12年国際収支統計(速報)	経常黒字4兆7,036億円(前年比▲50.8%)と2年連続で黒字が縮小。欧州や中国の景気低迷を受けた輸出の減速と燃料輸入の拡大で貿易収支の赤字が過
2 8	12年末時点の国の借金	債務残高総額997兆2,181億円、前回公表の12年9月末に比べ13兆9,230億円増え、過去最大を更新。
2 8	米、12年貿易収支	▲5,404億ドル(前年比▲3.5%)。
2 12	米オバマ大統領、一般教書演説	「核なき世界」など理想をちりばめ、米国の「変革」を内外に発信した1期目就任直後とは変わり、外交が影を薄め、経済など内政問題が全体の約8割を占め
2 13	日銀、金融政策決定会合(～14日)	金融政策維持を決定、景気判断を引き上げ。
2 13	米大統領、13年会計年度予算教書発表	13会計年度の歳入2兆9,020億ドル、歳出3兆8,030億ドル、財政赤字9,010億ドル(対GDP比5.5%)。10年間で約3.2兆ドルの財政赤字削減策を提案。
2 14	12年GDP(速報)	実質+1.9%、名目+1.1%。
2 14	ユーロ圏17カ国、12年GDP	▲0.5%。
2 15	G20財務大臣・中央銀行総裁会議(～16日、モスクワ)	「通貨の競争的な切り下げを回避する」ことなどを含む共同声明を採択。

2013年の通商関連の主な動き(暫定版)

月 日	主な動き	内容・決定事項等
2 20	13年1月貿易統計(速報)	貿易収支は▲1兆6,294億円と7ヵ月連続の赤字、単月では12年1月の1兆4,815億円を上回り過去最大。
2 22	日米首脳会談(ワシントンDC)	安倍首相、尖閣諸島問題に関し「日本は冷静に対応する」と説明。
2 26	12年度補正予算案成立	総額13兆1,054億円で緊急経済対策費10兆3,000億円が柱。補正予算としてはリーマンショック後の09年度に次ぐ過去2番目の規模。
2 27	2月月例経済報告	「景気は、一部に弱さが残るものの、下げ止まっている。」
2 28	米、12年GDP(2次速報)	+2.2%。
3 5	中国、第12期全国人民代表大会(～17日)	新たな国家主席に決まった習近平氏が演説し、国民の幸福の実現や国家主権を守り抜く姿勢を強調して閉幕。
3 6	日銀、金融政策決定会合(～7日)	金融政策維持を決定。
3 7	ECB、政策金利	0.75%で据え置き。
3 8	12年GDP(2次速報)	実質+2.0%、名目+1.1%。
3 13	第266代ローマ法王選挙(コンクラーベ)	アルゼンチンのホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿を選出。
3 14	米、12年経常収支	経常赤字4,750億ドル(前年比+1.9%)、3年連続で拡大。
3 15	政府、環太平洋経済連携協定(TPP)の交渉参加を正式表明	安倍首相、「今がラストチャンス。このチャンスを逃すと世界のルール作りから取り残される」。
3 15	3月月例経済報告	「景気は、一部に弱さが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。」
3 15	12年度大学生就職内定率	13年春卒業予定者の内定率81.7%(2月1日時点、前年同期比1.2ポイント増)。
3 19	米、FOMC(～20日)	ゼロ金利政策の継続を確認。
3 20	日本銀行、新体制	第31代総裁に黒田東彦氏(前アジア開発銀行総裁)が就任、金融緩和で緩やかなインフレを起こし景気回復を目指す「リフレ政策」に転換。
3 20	米国による対イラク開戦から10年(日本時間)	
3 21	13年1月1日時点の公示地価	全国平均(全用途)は前年比▲1.8%と、5年連続で前年を下回るも、下落幅は縮小。
3 25	広島高裁、昨年の衆院選を違憲と判断	「1票の格差」が是正されずに実施された昨年12月の衆院選をめぐる全国訴訟の判決で小選挙区の区割り「違憲」と判断し、広島1、2区の選挙を無効に。
3 27	キプロス中央銀行が資本規制発表	3月28日の銀行営業再開に伴い、小切手の換金を禁止し、1日当たりの現金引き出し上限を300ユーロに。

2013年の通商関連の主な動き(暫定版)

月 日	主な動き	内容・決定事項等
3 28	米、12年GDP(確定)	+2.2%。
4 1	日銀、3月企業短期経済観測調査(短観)	大企業の景況感が製造業、非製造業ともに前年6月調査以来3期ぶりに改善。
4 3	日銀、金融政策決定会合(~4日)	長期国債の購入について、資産買入等基金を廃止して輪番オペに統合した上で、グロスの買入額をこれまでの月額約4兆円から7兆円強に。
4 4	12年度輸入車新規登録台数(速報)【日本自動車輸入組合】	32.1万台(前年度比+8.9%)、うち外国メーカー車24.6万台(同+10.0%)。
4 4	ECB、政策金利	0.75%で据え置き。
4 9	12年度工作機械受注(速報)【日本工作機械工業会】	1兆1,397億円(前年度比▲13.1%)、3年ぶり減少。
4 12	4月月例経済報告	「景気は、一部に弱さが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。」
4 15	中国、1~3月期GDP(前年同期比)	+7.7%、個人消費が伸び悩む。
4 15	米ボストンマラソン・テロ事件	ゴール付近で爆破テロ事件、3人が死亡。
4 16	13年度予算案が衆院を通過	一般会計総額92兆6,115億円の13年度予算案が衆院本会議で可決、昨年12月の政権交代で予算案編成が越年したため、予算成立は17年ぶりに5月にず
4 16	人口推計(12年10月1日時点)	総人口1億2,751万5千人(前年比▲0.2%)。
4 16	IMF世界経済見通し(春季)	世界経済の実質GDP成長率は、ユーロ圏のマイナス成長を背景に、13年+3.3%、14年+4.0%。13年の日本は+1.6%、14年は+1.4%。
4 18	12年度貿易統計(速報)	貿易赤字8兆1,699億円、最大だった11年度の4兆4,221億円を上回り、2年連続で過去最大。
4 18	12年度粗鋼生産量【日本鉄鋼連盟】	1億730万トン(前年度比+0.8%)、2年ぶりの増加。
4 18	G20財務大臣・中央銀行総裁会議(~19日、ワシントンDC)	日本の緩和措置は「デフレ阻止と内需下支えを意図したものだ」と指摘。
4 23	12年度国内パソコン出荷台数【電子情報技術産業協会】	出荷台数1,115.2万台(前年度比▲1.1%)、うちデスクトップ型302.3万台(同▲8.6%)、ノート型812.9万台(同+2.0%)。
4 26	米、1~3月期GDP(速報、季調済年率換算)	+2.5%、政府の歳出削減が響く。
4 26	日銀、金融政策決定会合	金融政策の現状維持を決定。
4 29	日ロ首脳会談(モスクワ)	停滞している平和条約交渉を再開することで合意。
4 30	12年度新設住宅着工戸数	89万3,002戸(前年度比+6.2%)、3年連続増加。

2013年の通商関連の主な動き(暫定版)

月 日	主な動き	内容・決定事項等
4 30	米、FOMC(～5月1日)	ゼロ金利政策の継続を確認。
5 2	ECB、政策金利	0.25ポイント引き下げ、過去最低の0.5%。
5 10	12年度末の国の借金	債務残高総額991兆6,011億円(前年度末比+31兆6,508億円)と過去最大を更新。
5 10	12年度国際収支統計(速報)	経常黒字は4兆2,931億円(前年度比▲43.6%)と過去最低、貿易収支は6兆8,947億円の赤字。
5 15	ユーロ圏17カ国、1～3月期GDP(速報、前期比)	▲0.2%。
5 15	13年度予算が成立	日本国憲法第60条・衆議院の優越の規定に基づいて成立、一般会計総額92兆6,115億円、2月に成立した13兆円超の12年度補正予算と合わせた15カ月予算実質+1.2%、名目+0.3%。
5 16	12年度GDP(速報)	実質+1.2%、名目+0.3%。
5 20	5月月例経済報告	「景気は、緩やかに持ち直している。」
5 21	日銀、金融政策決定会合(～22日)	金融政策の現状維持を決定。
5 22	東京スカイツリー開業から1年	
5 29	OECD経済見通し(春季)	13年の世界経済は+3.1%と前年11月見通しの+3.4%から引き下げ。
5 30	米、1～3月期GDP(2次速報、季調済年率換算)	+2.4%に下方修正。
6 1	第5回アフリカ開発会議(～3日、横浜)	民間セクター主導の成長やインフラ整備を促進することなどを明記した「横浜宣言2013」を採択。
6 5	12年合計特殊出生率	前年を0.02ポイント上回る1.41。
6 6	ECB、政策金利	0.5%で据え置き。
6 10	12年度GDP(2次速報)	実質+1.2%、名目+0.3%。
6 10	日銀、金融政策決定会合(～11日)	金融政策の現状維持を決定。
6 12	世界銀行、世界経済見通し	13年の実質GDP成長率は世界+2.2%、米+2.0%、ユーロ圏▲0.6%、日本+1.4%。
6 13	6月月例経済報告	「景気は、着実に持ち直している。」
6 17	G8首脳会議(～18日、イギリス・アーン湖)	人道支援のため主要8カ国(G8)が約15億ドルを拠出することで合意。

2013年の通商関連の主な動き(暫定版)

月 日	主な動き	内容・決定事項等
6 18	米、FOMC(～19日)	ゼロ金利政策の継続を確認。
6 25	通商白書2013年版	副題「世界経済のダイナミズムを取り込んで実現する生産性向上と経済成長」。
6 26	米、1～3月期GDP(確定、季調済年率換算)	+1.8%に下方修正。
7 1	クロアチアがEU加盟	28カ国体制(旧共産諸国は計11カ国)に。
7 1	13年分路線価	全国平均は前年を1.8%下回り、5年連続の下落。
7 1	日銀、6月企業短期経済観測調査(短観)	業況判断指数(DI)は大企業・製造業で+4と、前回3月調査より12ポイント改善、11年9月調査(+2)以来1年9カ月ぶりのプラスに。
7 4	ECB、政策金利	0.5%。
7 4	13年上半年期輸入車新規登録台数(速報)【日本自動車輸入組合】	17.1万台(前年同期比+13.3%)、うち外国メーカー車は13.3万台(同+12.6%)。
7 10	日銀、金融政策決定会合(～11日)	金融政策の現状維持を決定。
7 15	中国、4～6月期GDP(前年同期比)	+7.5%、2期連続で前の期を下回り、中国の景気の減速傾向が鮮明に。
7 19	G20財務大臣・中央銀行総裁会議(～20日、モスクワ)	市場を動揺させないよう「注意深く調整された」政策を約束することによって世界経済の回復を強固にすることを旨とした共同声明を採択。
7 23	経済財政白書2013年版	副題「経済の好循環の確立に向けて」。
7 23	7月月例経済報告	「景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる。」
7 23	環太平洋経済連携協定(TPP)交渉(マレーシア・コタキナバル)	日本政府、正式参加。
7 24	13年上半年期貿易統計(速報)	貿易収支は▲4兆8,438億円と過去最大の赤字。輸出は33兆9,574億円(前年同期比+4.2%)と2期ぶりの増加、輸入は38兆8,012億円(同+9.2%)と7期連続の増
7 30	13年上半年期自動車輸出実績【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数229.5万台(前年同期比▲7.7%)、上半期として2年ぶりに減少。
7 30	米、FOMC(～31日)	ゼロ金利政策の継続を確認。
7 31	米、4～6月期GDP(速報、季調済年率換算)	+1.7%。
8 1	ECB、政策金利	0.5%で据え置き。
8 7	日銀、金融政策決定会合(～8日)	金融政策の現状維持を決定。

2013年の通商関連の主な動き(暫定版)

月 日	主な動き	内容・決定事項等
8 8	13年上半期国際収支(速報)	経常収支3兆2,114億円(前年同期比+0.6%)と黒字幅の拡大、統計比較可能な1985年以降、2番目に低い水準。
8 12	4~6月期GDP(速報、季調済、前期比)	実質+0.6%、名目+0.7%。
8 14	ユーロ圏17カ国、4~6月期GDP(速報、前期比)	+0.3%。
8 15	8月月例経済報告	「景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる。」
8 29	米、4~6月期GDP(2次速報、季調済年率換算)	+2.5%に上方修正。
9 4	日銀、金融政策決定会合(~5日)	金融政策の現状維持を決定。
9 4	世界経済フォーラム、世界競争力レポート	日本の総合順位は9位(前年10位)。
9 5	日米首脳会談(ロシア・サンクトペテルブルク)	環太平洋経済連携協定(TPP)について、年内妥結を目指す考えで一致。
9 5	G20首脳会議(~6日、ロシア・サンクトペテルブルク)	「世界経済には改善がみられるものの、新興国市場の動揺が拡大するなか、危機を脱したと宣言するのは時期尚早。」
9 5	ECB、政策金利	0.5%で据え置き。
9 7	20年の第32回夏季五輪の東京開催が決定	1964年以来56年ぶり。
9 7	豪州総選挙	トニー・アボット自由党党首率いる野党・保守連合(自由党と国民党)が勝利、6年ぶりの政権交代。
9 9	4~6月期GDP(2次速報、季調済、前期比)	実質+0.9%、名目+0.9%。
9 13	9月月例経済報告	「景気は、緩やかに回復しつつある。」
9 17	米、FOMC(~18日)	ゼロ金利政策の継続を確認。
9 19	13年7月1日時点の基準地価	東京、大阪、名古屋の三大都市圏の全用途平均は0.1%上昇と、08年以来のプラスに。
9 24	国連総会、一般討論開始(ニューヨーク)	安倍首相、一般討論演説で「新たに積極的平和主義の旗を掲げる」として、集団安全保障への積極的な参加に強い意欲を示す(日本時間27日未明)。
9 26	米、4~6月期GDP(確定、季調済年率換算)	+2.5%。
10 1	日銀、9月企業短期経済観測調査(短観)	業況判断指数(DI)は大企業・製造業で+12と、前回6月調査より8ポイント改善。円安進行に伴う輸出採算の好転が続いていることを背景に、07年12月調査以消費税率(現行5%)を来年4月から8%に引き上げることを政府与党政策懇談会で表明。

2013年の通商関連の主な動き(暫定版)

月 日	主な動き	内容・決定事項等
10 1	米、政府機関の一部が閉鎖	暫定予算をめぐって17年ぶりに政府機関の一部が閉鎖。
10 2	ECB、政策金利	0.5%で据え置き。
10 3	日銀、金融政策決定会合(～4日)	金融政策の現状維持を決定。
10 4	13年度上半期輸入車新規登録台数【日本自動車輸入組合】	16.8万台(前年同期比+12.7%)、うち外国メーカー車は13.7万台(同+18.7%)。
10 7	アジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議(～8日、インドネシア・バリ)	堅実で責任ある経済政策の実施を明記した「強靱なアジア太平洋、世界成長のエンジン」首脳宣言を採択。
10 8	IMF世界経済見通し(秋季)	世界経済の成長率を13年+2.9%、14年+3.6%と予測。
10 10	G20財務大臣・中央銀行総裁会議(～11日、ワシントンDC)	米国を名指して「政府債務(借金)の上限引き上げ問題」の早期解決を求める異例の声明を採択し、閉幕。
10 11	IMF・世界銀行年次総会(～13日、ワシントンDC)	米国の政治的行き詰まりを批判。
10 15	臨時国会(第185回国会)召集	特定秘密保護法案審議のため会期を2日間延長し、12月8日までの55日間に。
10 18	中国、7～9月期GDP(前年同期比)	+7.8%。
10 21	13年度上半期貿易統計(速報)	貿易収支は▲5.0兆円の赤字、赤字額は半期ベースで過去最大。輸出は+9.8%、輸入は+13.9%。
10 22	13年度上半期パソコン国内出荷台数【電子情報技術産業協会】	出荷台数499.0万台(前年同期比▲8.7%)、3,731億円(同▲3.9%)。
10 24	10月月例経済報告	「景気は、緩やかに回復しつつある。」
10 29	米、FOMC(～30日)	ゼロ金利政策の継続を確認。
10 30	13年度上半期自動車輸出実績【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数234万9,807台(前年同期比▲0.9%)と上半期として2年ぶりのマイナス。
10 31	日銀、金融政策決定会合	海外5中央銀行と締結しているスワップ取り決めの常設化を決定。
11 7	米、7～9月期GDP(速報、季調済年率換算)	+2.8%。
11 7	ECB、政策金利	0.25ポイント引き下げて0.25%。
11 11	13年度上半期国際収支(速報)	経常黒字は3兆548億円(前年同期比+11%)、貿易収支は過去最大の赤字で4兆6,664億円。
11 11	COP19(～23日、ポーランド・ワルシャワ)	原発事故を受けて削減目標を見直していた日本は、20年までに温室効果ガスの排出量を05年と比べて3.8%削減するという新たな目標を公表。

2013年の通商関連の主な動き(暫定版)

月 日	主な動き	内容・決定事項等
11 14	7～9月期GDP(速報、季調済、前期比)	実質+0.5%、名目+0.4%。
11 14	ユーロ圏17カ国、7～9月期GDP(速報、前期比)	+0.1%。
11 19	OECD経済見通し(秋季)	世界経済の成長率を13年+2.7%、14年+3.6%に下方修正。
11 20	日銀、金融政策決定会合(～21日)	金融政策の現状維持を決定。
11 22	11月月例経済報告	「景気は、緩やかに回復しつつある。」
12 5	米、7～9月期GDP(2次速報、季調済年率換算)	+3.6%に上方修正。
12 5	ECB、政策金利	0.25%で据え置き。
12 6	特定秘密保護法成立	国の秘密情報を口外した公務員や民間人を処罰する「特定秘密保護法」が、参院本会議で自民・公明両党の賛成多数により可決。
12 9	7～9月期GDP(2次速報、季調済、前期比)	実質+0.3%、名目+0.3%。
12 16	日銀、12月企業短期経済観測調査(短観)	業況判断指数(DI)は大企業・製造業で+16と、前回9月調査より4ポイント改善。非製造業も+20と前回調査より6ポイント改善。
12 17	米、FOMC(～18日)	ゼロ金利政策の継続と、来年1月からQE3を縮小することを決定。
12 18	「結いの党」設立	代表に江田憲司氏、幹事長に小野次郎氏が就任。
12 19	東京都・猪瀬直樹知事が辞職を表明。	就任わずか1年。
12 19	日銀、金融政策決定会合(～20日)	金融政策の現状維持を決定。
12 20	米、7～9月期GDP(確定、季調済年率換算)	+4.1%に上方修正。
12 24	12月月例経済報告	「景気は、緩やかに回復しつつある。」
12 30	東京株式市場大納会	日経平均株価の終値は1万6,291円31銭、今年の最高値を7営業日連続で更新。
12 31	NY株式市場年末値	ダウ工業株(30種平均)の終値は1万6,576.66ドル、前日に比べ+0.4%となり、2日連続で史上最高値を更新。